

行政の窓

「HOKKAIDO WOOD」ブランドを活用した道産木材のPRについて

道では、平成30年から、道内の木材関連企業や団体、試験研究機関、道を構成員とした「道産木材製品販路拡大協議会」を設置し、道産木材製品の販路拡大に取り組んでいます。

令和元年に道産木材をPRするために新たなブランド「HOKKAIDO WOOD」を立ち上げ、ロゴマークやキャッチフレーズ「木の質は、森の質。」を使用した関連グッズなどのPRツールを作成して、道内はもとより、道外・海外の展示会やイベントなどでプロモーション活動を進めてきました。

「HOKKAIDO WOOD」のロゴマークは、協議会のホームページで一般公開し、趣旨に賛同する様々な分野の企業、団体、個人が無料で使うことができるとしており、令和7年2月現在、412の企業・団体等からの使用届出を受け、登録を行っています。

木の質は、
森の質。



HOKKAIDO
WOOD

ロゴマークと
キャッチフレーズ

◆道内での取組

道では、こうした企業・団体等との連携を強化するため、令和6年10月には札幌市内の商業施設ココノスキノにおいて「HOKKAIDO WOOD MARCHE」、令和7年1月にはジョブキタビルにおいて「HOKKAIDO WOOD 展」などの展示会を開催しました。それぞれ16社、36社の企業・団体等が参加し、企業間の交流を深めるとともに、来場者に対して、道産木材の魅力を伝えながら、家具や雑貨、建材などの展示、販売を行いました。

◆道外での取組

東京都内で、令和6年8月にJAPAN ReWOOD「WOOD COLLECTION2024」、令和6年12月にJAPAN BUILDに出展し、木材の一大消費地である首都圏の企業等をターゲットとした道産木材製品の展示・PRを行いました。道内からそれぞれ4社、6社の企業が、道産の構造材・内外装材などの建築材や、家具・クラフトなど様々な種類の製品を出展し、多くの方にご来場頂いたことで、商談につながる事例もありました。



JAPAN BUILD での HOKKAIDO WOOD ブース

◆海外向けの取組

令和6年12月に台湾の台北市で開催された「台北国際建築建材及び産品展」において、道内から8企業・団体が出展し、フローリングなどの建築材や、家具・クラフト等を展示しました。令和元年度から台湾で出展を続けてきた結果、道産木材製品の認知度が向上してきていることや、展示会前にSNS（Facebook, Instagram 及びLINE）を活用し広く周知を行ったことで、開催期間を通して多くの来場者でにぎわい、商談につながる事例もありました。



台北国際建築建材及び産品展での
HOKKAIDO WOOD ブース

◆ふるさと納税返礼品への出品

このほか令和6年10月から、北海道のふるさと納税返礼品として、HOKKAIDO WOOD 製品を新たに追加・出品しました。HOKKAIDO WOOD に登録する企業のうち、12社が出品し、令和6年度末までに約30件の寄附を頂いています。木のアクセサリや鏡餅などのインテリアのほか、道産木材で製作された和弓「雪花」（せっか：(株)大洋弓具製材所）も注目を集め、多くの方から寄附を頂くことが出来ました。事業者として、商品の露出が増え、販路が広がるというメリットがあったほか、道として、道産木材製品が道外の方々の目に触れることにより HOKKAIDO WOOD ブランドの認知拡大にも繋がったと考えています。

このような取組を継続的に実施し、今後も、「HOKKAIDO WOOD」の趣旨に賛同いただいた企業等との連携を強化し、道産木材の需要拡大の取組を展開していきます。

(水産林務部林務局林業木材課利用推進係)